

2023 年度 福祉助成金（活動助成） 成果報告書

ふりがな	にんていえぬびーおーほうじんでいーびー	
団体名	認定 NPO 法人 D×P	
代表者名	今井紀明	
連絡先	住所	〒540-0032 大阪市中央区天満橋京町 1-27 ファラン天満橋 33 号室
	TEL	070-8684-3931
	E-mail	dp.k-kumai@dreampossibility.com
	URL	https://www.dreampossibility.com/
設立年（西暦）	2012 年	
助成活動名	生活困窮や不登校など様々な困難を抱えた岡山に住む若者への LINE を使った相談対応	
助成額	1,000,000 円	
活動内容	目的	<p>2023 年度には貴財団の助成金を使い、試験的に岡山での広告運用を開始することができました。2021 年度は岡山から 19 名の相談*がきていましたが、2023 年度は 3 月末時点で 31 名の相談*がきています。</p> <p>広告により、岡山からの相談の数は増えてきましたが、必要としている若者にまだまだ当団体のサービスが届いていません。</p> <p>岡山県の高校での不登校者数は 1,000 人当たり、21 人と全国平均 16.9 人を上回っている状況や、中途退学者 755 人の 7.7%である 78 人が経済的理由で学校を中途退学しており、全体平均の 1.4%より大幅に高くなっています。（令和 4 年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果より）</p> <p>上記の統計を踏まえると、経済的困難や不登校など困難を抱えた岡山に住む若者にまだまだリーチできていません。</p> <p>一過性で終わることなくユキサキチャットの岡山での認知拡大を目指し、岡山から相談を受け取れる体制をつくります。</p> <p>*ユキサキチャット登録者のうち、自動質問に答えた人数で算出</p>
	内容	<p>LINE でまずつながり、進路や生活などの相談に応じます。</p> <p>特に生活困窮する若者には、食糧支援や現金給付を実施し、最大 15 ヶ月間のサポートを行います。</p> <p>1. 進路・中退・生活などの相談対応</p> <p>(1) 時期：2024 年 4 月～2025 年 3 月</p> <p>(2) 場所：LINE でのオンライン相談</p> <p>(3) 登録者数：100 人</p> <p>(4) 内容：進路や中退の相談や生活相談に対応。奨学金や公的な制度などの情報提供を行ない、相談者のこれからの一歩を考えます。</p> <p>2. 食糧支援と現金給付支援</p>

	<p>(1) 時期：2024年4月～2025年3月</p> <p>(2) 場所：LINEを通じて 若者個人に直接届けます</p> <p>特に生活困窮する若者には、1箱30食入りの食糧支援や現金給付でサポート。必要な場合は生理用品やシャンプーなどの日用品も届けます。</p> <p>3. 岡山でのアウトリーチ（広報活動）</p> <p>(1) 時期：2024年4月～2025年3月</p> <p>(2) 場所：SNS 広告</p> <p>(3) 内容：岡山でのユキサキチャット認知拡大のため、若者が利用する SNS に広告を掲載します。</p>
<p>成果</p>	<p>1. 進路・中退・生活などの相談対応</p> <p>2023年4月～2024年3月の間、少なくとも31名の岡山県の若者より相談がありました。</p> <p>2. 食糧支援と現金給付支援</p> <p>2023年4月～2024年3月の間、岡山県に住む若者5名に計43万円の現金給付、570食の食糧支援を届けました。</p> <p>3. 岡山でのアウトリーチ（広報活動）</p> <p>【定量的な成果】（認知経路に広告と答えた方みの数値。相談者が広告経由と認知していない場合もあるので推計となります。）</p> <p>① SNS 広告掲出中の登録：17名(内、インスタ広告経由13名、LINE 広告経由3名、その他1名)</p> <p>※アカウント登録時の都道府県選択の際に「岡山」を含むワードを記載された方のみとなります。</p> <p>② ①のうち、実際にLINE 上での相談が行われた方：9名</p> <p>③ ①のうち、現金給付や食糧支援を希望された方：5名</p> <p>④ ③のうち、実際に現金や食糧の給付に至った方：3名</p> <p>【定性的な成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS 広告のうち、10代～20代前半の困窮状況にある方へのアウトリーチはインスタ広告の方がアウトリーチしやすいということが分かりました。 ・相談内容として、複数の種類の生きづらさを抱えた、対応の難しい状況の方がおられました。参考として3ケースほど、どのような状況で相談に来られ、どのような対応を実施したのかを紹介いたします。

1.17 歳女性

過去に一時保護歴あり。ひとり親家庭で他にもきょうだいがいるが、最初は「ひとりぐらしがしたい」という相談。話を聞いていくと、直近で家賃滞納のため強制退去となり、母の交際相手の家で借り暮らしをしている状況。保護者の金銭管理の問題もあり、本人は学費が払えず高校を中退、下のきょうだいも不登校状態にある。食事も1日1食の状況で、LINEメッセージのみなので断片的な情報ではあるが適切な養育状況下に置かれていない様子であった。本人との相談の中でも「児童相談所に話した方がいいと思うが、何をどう伝えたらいいかわからないし、過去の経験からあまり連絡したくない」という発言があったため、その時点でオンライン面談を実施。情報や伝え方などを整理した結果、本人から児童相談所へ連絡を入れることができた。また、食事が十分に取れていないという点から食糧支援の検討も進めたが、保護者が食糧支援の受取を拒否したことから食糧を発送することが叶わず、現在はチャットのみで気持ちの傾聴や状況の整理のサポートを実施している。

2.18 歳女性

実家で虐待歴があり、児相や警察への相談歴もあるが、本人として望まない対応をされた経験から公的機関への不信感が強い。高校を中退しており、その後アルバイトをしていたが自分で稼いだお金の搾取や借金の肩代わりをさせられ、十分な食事も取れていなかった(本人からは「雑草を食べる生活をしていました」と聞いています)。保護者と縁を切り、現在は友人宅に居候の形で生活している。最初の相談時から「お金がなくてスマホ代が払えない」と話しており、面談時は収支マイナスの状況で強い貧困状況であった。また、命にかかわる持病での定期通院も必要であったため、8万円の給付と3か月間の食糧支援を実施した。給付終了までやりとりは続いたものの、元々居候のため、急な転居もあり連絡が取りづらくなり、現在は数か月間本人からの連絡を待っている状況です。

3.25 歳男性

元々関東出身で、実家の親と折り合いがうまくいかず、大学卒業後の新卒採用で家を出て岡山へ。複数回の転職歴があるがいずれも仕事が合わずうつ病を発症。相談時はアルバイトで月5万ほどの収入で、既に家賃滞納が発生していた。借金もあり自己破産の申請も進めようとしていた。一度生活保護の申請はされているが、前年度の正社員として仕事をしていた際の収入が一定程度あったことから受給には至らず、D×Pへの相談をされた背景がある。上記の状況から強い貧困状況にあると判断し、8万円の給付と3か月間の食糧支援を実施。給付期間中に改めて本人の経済状況を整理するサポートもおこない、再度生活保護の申請をしたものの再び受給には至りませんでした。引き続きどう暮らしを立て直せるといいかのやりとりを続けており、現在は本人からの連絡を待つ

	いる状況です。
今後の課題と対応策	<p>●課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録ののちに相談までつながった方が約 50%、給付の希望をされたのちに給付に至った方が 60%という率があり、何かしらの理由で申し込んだ後に関係が切れて支援を届けられない方が一定数存在している ・複数の生きづらさを抱えておられる方ほど長期的な関わりが必要だが、サポートの道半ばで連絡が途絶えてしまうケースも一定程度ある。 <p>●対応策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談や給付など具体的な支援につながる率を上げるため、登録～実際のサポートにつながるまでの手順を見直し、作業の簡略化、説明文の表現を読みやすいものへの修正をおこないます。 ・複数の生きづらさを抱えておられる方へのサポートについて、岡山で若者の対面支援を実施してくださる支援者の模索をし、連携することを検討できないかと考えています。D×P のオンラインのサポートのみでは対応が難しい場合もあり、現地で動いてくださる協力者の必要性を感じています。



写真の提出



食品ありがとうございました。
フルーツとかが入ってるの本当に嬉しいです
普段自分では金銭面的に買わなかったりもするの
で、

とりあえず頑張ってみようと面接を受けたりしてみ
ています。
順調に行けばもしかすると来月から働きに出れそう
な感じです

2024/03/12 16:14:08 [47]